

# 団長の心のものさし

たかが寄せ書き  
されど寄せ書き

## 5月のお誕生会が開かれる

4月からスタートした新企画“お誕生会”が開かれた。5月の誕生日は、ソプラノの森川圭子さん、テノールの津田和久さんのお二人。

練習もそっこのけで?・・・というわけではないが、前半の練習後、休憩を使ってのお誕生会では、この日のため特別に用意された富山名物“ます寿司”と“ぶり寿司”、そして定番のケーキが用意された。甘い物は食べないというメンバーのことを考慮して、ケーキと同じく丸い形をし

たこの寿司が採用になったわけだ。たまたまお誕生日委員のふさちゃん、週末、コーロ・Guiの合同練習のため富山に行って、



趣向を変えて寿司

この寿司が誕生会のテーブルを彩ることになったというわけだ。こうした細やかな気遣いも、こうした企画をただのお祭り騒ぎと捉えているだけなのか、もっとポジティブにプロデュースしようとするのかで、まったく出てくるものが変わる。だからこそ意味を持つてくるのだ。いろいろなことをこなす。そこにはテクニックが必要だ。でもテクニックだけに頼っていると、結果的に“似て非なる”ものになってしまうものだ。大事なことは、その人の、人としての“心持”だと痛感する。これも音楽に向き合う姿勢そのものだ。

無意味と呼べるものなど、一つもない。無意味にしている、人間の怠慢だけなのだ。

## 寄せ書きが渡され、ハグサービスまで!

誕生日会のプレゼントの一つが、メンバーからの寄せ書きだ。実に気が利いている。何をどう表現しようか、毎月求められるわけだ。相手を知ろうとしなければならない。これも音楽的だ。

そして誕生日委員からのハグサービス? サービスと言って良いのかどうかはよく分からないが、フランクでオープンな行為は、日本人が最も苦手とするところだ。音楽表現にもそれがよく現れている。こうしたお誕生会一つからも、いろいろな価値観や有益な姿勢が身につけば嬉しいと感じている。

さらなる進化を期待しよう!



お誕生日委員からハグサービス



5月生まれの津田和久さんと森川圭子さん

## うたおにの5月31日(月)の様子

### 練習内容

「Mass From Two Worlds」より

Gloria

般若心経

5月も最後の練習。合唱祭の直前にあたる6/10は、飯南女子高校の校歌の再レコーディングが入ったため、合唱祭のGloriaに比重を置く練習になった。おそらく今後も。

太田君が久しぶりに練習に参加。また、4月に入団され仕事の関係で練習参加が出来なかった地主一美さんが晴れて練習に参加。よろしくです!